

# インフラ老朽化時代における 多摩地区のまちづくりのあり方

高度経済成長期（1970年代）に集中して整備されたインフラが老朽化してきています。2012年12月に発生した中央自動車道笹子トンネルの天井板崩落事故はその危険性が明らかになった事故でした。また、漏水が原因で起きる道路陥没事故など古くなった埋設管が原因とみられる事故も各地で起きています。

これらの対策には、補修や更新が必要ですが、少子高齢化や人口減少など社会環境の変化や厳しくなる財政状況などにより予定通りに進まないのが現状です。

今回は、インフラ老朽化時代における多摩地区のまちづくりについて、行政と住民それぞれの取り組みなど、専門家による基調講演と先進的な事例を交えたパネルディスカッションにより都民の皆様への身近な課題に迫ります。

日時

平成**27**年**2**月**17**日(火)

13:30~16:00 (13:00開場)

参加費  
無料

募集定員200名  
先着順

会場

**たましんRISURUホール**

(立川市市民会館) [小ホール]

東京都立川市錦町3-3-20 TEL042-526-1311

プログラム

13:30~13:40 開演 主催者挨拶

13:40~14:30 基調講演 根本 祐二氏 (東洋大学経済学部教授)  
(休憩)

14:45~16:00 パネルディスカッション

- コーディネーター 根本 祐二氏
- パネリスト

福島まり子氏 (元さいたま市公共施設マネジメント会議市民委員)

小池 豊氏 (ジオ・サーチ株式会社取締役研究開発センター長)

藤村 龍至氏 (東洋大学建築学科専任講師/藤村龍至建築設計事務所代表)

●申込方法 住所・氏名・参加人数及び電話番号を記入のうえ下記のあて先に電子メールまたはFAXにてお申し込みください。  
(個人の方以外は、会社名等の所属についてもご記入をお願いします。)

●申込期間 平成27年2月9日(月)まで (参加費無料・募集定員200名先着順)

●問合せ先 東京都都市づくり公社事業推進部公益事業課 田代・曾我  
TEL042-686-1910 FAX042-686-1909  
E-mail:koueki@toshizukuri.or.jp

会場案内



主催:



公益財団法人 東京都都市づくり公社・公社関係市町村連絡協議会

# 講師紹介

## 根本 祐二氏 (東洋大学経済学部教授、東洋大学PPP研究センター長)

1954年鹿児島県生まれ。1978年東京大学経済学部卒業後、日本開発銀行（現日本政策投資銀行）入行。2006年同行地域企画部長を経て、東洋大学経済学部教授に就任。現在、同大学院経済学研究科公民連携専攻長、同PPP研究センター長を兼務。内閣府PFI推進委員会委員、国土交通省社会資本整備審議会委員等公職兼務。

## 福島まり子氏 (元さいたま市公共施設マネジメント会議市民委員)

さいたま市の公共施設マネジメント会議市民委員に公募し、現在は公共施設マネジメント・ワークショップ・メンバー。市民目線でのインフラ老朽化問題への取り組みについてお話をさせていただきます。

## 小池 豊氏 (ジオ・サーチ株式会社 取締役研究開発センター長)

マイクロ波を利用した走るCTスキャナー「スケルカ」を活用し、各地で道路下や護岸の空洞発見、橋梁床版の劣化診断、地下埋設物の位置確認など、地中の見えない危険を発見し、人の命と暮らしを守っています。

自然災害大国である日本の自治体における減災対策とインフラ老朽化対策を組み合わせた新しいまちづくりの取り組みについて、お話をさせていただきます。

## 藤村 龍至氏 (東洋大学建築学科専任講師、藤村龍至建築設計事務所代表)

1976年東京生まれ。2008年東京工業大学大学院博士課程単位取得退学。2005年より藤村龍至建築設計事務所主宰。2010年より東洋大学専任講師。主な建築作品に「鶴ヶ島太陽光発電所・環境教育施設」(2014)、主な著書に『批判的工学主義の建築』(2014)『プロトタイピング—模型とつぶやき』(2014)。

近年は建築設計やその教育、批評に加え、公共施設の老朽化と財政問題の解決を図るシティマネジメントや、日本列島の将来像の提言など、広く社会に開かれたプロジェクトも展開しています。

